

# 男子バドミントン部新人西播地区大会報告 2018.8.24

ダブルス 優勝 山戸・山口組 12位 大西・中塚組 (県大会出場)

シングルス 2位 山戸 太陽 8位 本上 大智 9位 山口 開生 (県大会出場)



西播新人大会が平成 30 年 8 月 21 日から姫路市立スポーツ会館で姫路飾西高校男子バドミントン部主将山戸太陽の宣誓で始まった。ダブルス 223 組シングルス 455 人の出場者から、ダブルス 13 組シングルス 13 人が県大会に出場することができる。

ダブルスは第 1 シードの山戸・山口組であったが、準決勝ではファーストゲームを落とし、心配したが気持ちを強く持って、セカンドゲームは危なげなく取った。ファイナルゲームはシーソーゲームとなり、19-19 から相手のミスで競り勝った。優勝戦は落ち着いて自分たちの試合展開で行うことができた。大西・中塚組はベスト 16 に残り、順位決定戦で一つ勝ち、県大会出場を決めた。まだまだ課題の多い二人であるが、よく頑張った。

シングルスは第 2 シードの山戸であったが、優勝目指して練習してきた。しかし、優勝戦では焦りからか普段しないような同じミスばかりを繰り返し、完敗であった。悔しい思いをしたことを決して忘れず、今後の練習に取り組みもっと強くなって欲しい。

ベスト 8 に入った本上は、本当によくやった。ダブルスも県大会出場を目指してしたので、その悔しさからかシングルスは危ない試合もあったが、落ち着いてラリーをし、勝ち上がった。シード選手として、今後の練習の取り組みに期待したい。選手たちは自分の試合にしっかり取り組むのは当然のことだが、同じチームの選手の応援を声を枯らすぐらいしていることが嬉しかった。きっと、選手の力となっていることだろう。

